CUSTOM
TOKYO JAPAN

非接触式体温計
NIR-01

医療機器認証番号:226AFBZX00029000

取扱説明書

このたびは当社の非接触式体温計をお求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保管してください。

〈保証書欄〉

保　証　書　　株式会社 カスタム

保　証　規　定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

1.保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じました場合は無償で修理いたします。
2.本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3.下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
　a　不適当な取扱い、使用による故障
　b　設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障
　c　当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
　d　その他当社の責任とみなされない故障

型番	NIR-01	シリアルNo.	
保証期間	年　月　日より1ヵ年		
お客様	お名前　様		
	ご住所		
	電話番号		
販売店	住所・店名		

販売店様へ　　お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。

株式会社 カスタム
〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12
TEL:03(3255)1117 FAX:03(3255)1137
http://www.kk-custom.co.jp/

150403

安全にご使用いただくために

本器をご使用になる前に安全上のご注意と取扱説明書をよくお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人が傷害または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

⚠警告

・指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わない。過度の衝撃や振動を与えない。
　本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。
・電子レンジなどのマイクロ波加熱炉の温度測定は絶対に行わない。
　本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。
・故障が疑われる場合は使用しない。
　使用前に亀裂、破損等の異常がないかを充分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。
・本器の分解、改造は行わない。
　修理が必要な場合は、当社もしくは購入された販売店にお問い合わせください。
・本器を加熱したり火中に投入しない。
　破裂による火災、怪我の恐れがあります。
・危険物、発火物、爆発の恐れがある場所では使用しない。
　重大事故を引き起こす恐れがあります。
・本器に水をかけない。
　感電のおそれがあります。
・本器は乳幼児の手の届く所に置かない。
　万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
・電池の液が目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける。
・電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
・電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしない。
・電池のプラス、マイナスを逆にして使用しない。
・付属の電池を充電しない。
　充電すると液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
・電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管をしない。
・新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
・電池残量不足表示が現れたら、すぐに電池を交換する。
　正確な温度測定ができません。
・使い切った電池はすぐ本器から取り出す。
・本器が濡れている時や湿気の多い場所では絶対に使用や電池交換をしない。また濡れた手で電池交換をしない。
　感電の危険があります。
・指定されている電池以外は使用しない。
・電池を交換する際は、必ず電源を切ってから行う。
・電池交換後は必ず電池収納部カバーを閉じてから使う。
・長期間使用しない場合には、本器から電池を取り出す。

⚠注意

・高温や低温のところ、直射日光の当たるところ、湿気やホコリの多いところでの使用や保管はしない。
　本器は精密な電子部品でつくられています。
・周囲に雑音を発生させる装置のある場所や静電気の溜まっている物体の近くでは使用しない。
　表示が不安定になったり、誤差の原因となります。
・外部の強力なノイズ等により測定ができなくなった場合や、表示に異常が発生した場合は本器の電源を切る。
　しばらくしてから電源を入れなおしてください。
・本器のレンズを太陽や強い光源に向けない。
　センサーが破損する可能性があります。
・レンズに傷があるときは使用しない。
　レンズに傷がある状態では正しい測定結果を得られません。
・測定する物体にレンズを接触させない。
　レンズを近づけて傷がついたり、汚れや異物が付着すると、誤作動の原因になります。
・使用上の注意に示された使用条件を満たさない状況で使用したり、製造販売業者以外が修理や改造、再調整などを行わないこと。
　これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負いません。

1.概要

・本器は、おでこ(額部)から放射されている赤外線を非接触的に測定し、舌下部分の温度を推定する皮膚赤外線体温計です。測定は1～3秒で完了し、すばやく温度を表示する特長を備えています。
・物体の表面温度や室内温度を測定する機能も備わっています。

備考

舌下温度の換算値ではなく、おでこ(額部)の表面温度を測定/確認したい場合は、[6-3.　物体表面温度の測定および表示]の手順でおおよその温度を確認することができます。ただし、その際は測定精度を考慮してください。

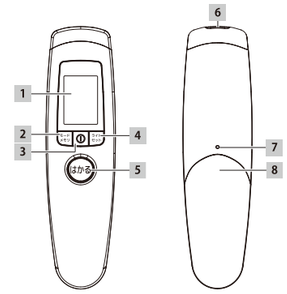
・舌下温は腋下温(わきのした)よりも高い傾向があります。
・予め本器で測定した平常時の体温を知ったうえで、検温を行ってください。

2.仕様

項　目	仕　様
体温測定範囲(測定部位:額)	+34.0～+42.2℃
体温測定精度	+36.0～+39.0℃:±0.2℃ 上記以外:±0.3℃
臨床繰り返し精度	0.23℃
物体表面温度測定範囲	−22.0～+80.0℃
物体表面温度測定精度	±4%または±2℃のどちらか大きい値
室内温度測定範囲	+10.0～+40.0℃
室内温度測定精度	±2.0℃
最小表示単位	0.1℃
体温測定結果保存数	最新60件
電子音	起動時、測定中、測定完了時 (全て無音に変更可能)
表示部	LCD
サンプリング	1回/秒
測定エリア	2cmでφ1cm
使用温湿度	+10.0～+40.0℃、95%RH以下 (但し、結露のないこと)
保管温湿度	−20.0～+50.0℃、85%RH以下 (但し、結露のないこと)
電源	単4(1.5V)乾電池×2個
電池寿命	約3000回(バックライト非点灯)
自動電源オフ機能	1分後に自動で電源オフ
電撃保護の形式と程度	内部電源機器、BF形装着部
寸法	約W47.6×H188.0×D29.0mm
重量	約82g(電池含まず)
付属品	取扱説明書、添付文書、収納ケース、 単4(1.5V)乾電池×2本

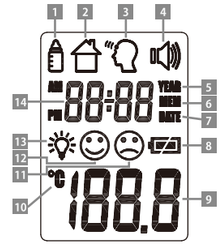
※本器に付属の電池は動作確認用です。初めてご使用いただく際には必ず新しい電池と交換してください。
　電池寿命はアルカリ電池使用にて規定。

3.各部の名称



No.	各部の名称	機　能
1	表示部	温度や動作中の状態を表示する。 電源を入れた状態で[はかる]ボタンを押したとき:測定した温度と、測定結果の目安になるアイコンを表示し、測定結果を本体に保存する。
2	[モード/メモリ]ボタン	電源を入れた状態で5秒間押し続けたとき:保存された測定値を表示部に表示する。
		電源を入れた状態で短く1回押したとき:物体表面温度測定モードになる。
		電源を入れた状態で短く2回押したとき:室内温度測定モードになる。
3	電源ボタン	短く押したとき:本体の電源が入る/切れる。
4	[ライト/セット]ボタン	電源を入れた状態で短く1回押したとき:バックライトが約5秒間点灯する。
		電源を入れた状態で5秒間押し続けたとき:時間形式、日付、時刻、電子音、バックライトの設定変更ができる。
5	[はかる]ボタン	測定部位の表面温度を非接触的に測定する。測定は1～3秒で完了する。
6	測定センサー	放射赤外線を感知する部位
7	電池収納部ロック穴	この部位に硬く細長い物体を挿したとき:本体に固定されている電池収納部カバーのロックがはずれる。
8	電池収納部カバー	電池装着部位の蓋

4.ディスプレイの表示



1. 物体表面温度測定モード
2. 室内温度測定モード
3. おでこ温度測定モード
4. 電子音記号
5. 年
6. メモリ機能
7. 日
8. 電池残量
9. 温度／保存場所番号表示
10. 測定単位(摂氏)
11. ステータスインジケーター(不調)
12. ステータスインジケーター(良好)
13. バックライト記号
14. 時刻表示部

〈裏面に続く〉

5.準備

5-1. 電池の装着および交換

電池は単4乾電池2本を使用します。

(1)クリップなど硬く細長い物体を電池収納部ロック穴に差し込みながら、電池収納部カバーを指で押しながら横方向にずらして電池収納部カバーを取りはずす。(図1参照)

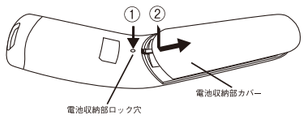


図1

(2)古い電池が装着されている場合は、電池収納部から取り出す。
(3)＋ーの向きに注意しながら単4乾電池2本を取り付ける。
(4)電池収納部カバーを元に戻す。

ご注意

・電池交換後は時計をはじめとする設定がクリアされてしまいますので、改めて設定をしなおしてください。
・本器に添付された乾電池は出荷時動作確認用です。測定時には新しい電池をお使いください。

5-2. 基本設定

「時間形式」、「日付」、「時刻」、「電子音」、「バックライト」の設定を順に行います。本器を初めて使用する時と電池を交換した後には必ず行ってください。

(1)電源ボタンを短く1回押す。
「ピッ」と短い音が2回鳴り、“ ”が表示されます。
(2)[ライト/セット]ボタンを約5秒間押し続ける。
(3)「時間形式」の選択画面になるので、[モード/メモリ]ボタンを押して「24H」または「12H」を選び、[ライト/セット]ボタンを押す。(図2参照)

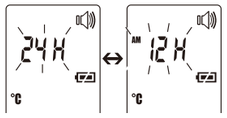


図2

(4)「日付」の入力画面になるので、[モード/メモリ]ボタンを押して現在の年(西暦)を選び、[ライト/セット]ボタンを押す。
続いて「月/日」の入力画面になる。手順(3)で「24H」を選んだ場合は「日→月」の入力順、「12H」を選んだ場合は「月→日」の入力順になるので、それぞれ[モード/メモリ]ボタンで数値を選んだ後に[ライト/セット]ボタンを押して、月日を確定する。(図3参照)

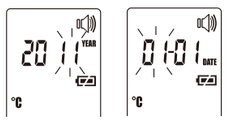


図3

(5)続いて「時刻」の入力画面になる。「時→分」の入力順になるので、それぞれ[モード/メモリ]ボタンで数値を選んだ後に[ライト/セット]ボタンを押して、時刻を確定する。(図4参照)

図4

(6)続いて「電子音の有効/無効」の選択画面になる。表示部の右上に“ ”アイコンが表示されたら、[モード/メモリ]ボタンを押して「On」(有効)または「OFF」(無効)を選び、[ライト/セット]ボタンを押す。(図5参照)

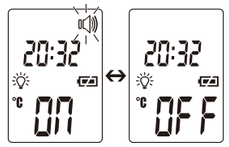


図5

(7)続いて「バックライトの有効/無効」の選択画面になる。表示部の左中段に“ ”アイコンが表示されたら、[モード/メモリ]ボタンを押して「On」(有効)または「OFF」(無効)を選び、[ライト/セット]ボタンを押す。(図6参照)

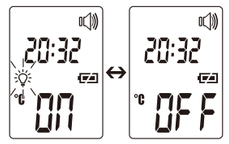


図6

6.測定

6-1. 測定の前に

測定時に守ること

・体温を確認するための製品であるので、医師による診断に代わるものではないことに注意する。
・本器が周囲の温度になじんでいないと測定誤差が大きくなるため、測定時は早めに測定する場所に本器を移動して周囲の温度になじませること。
使用可能の目安として、室内温度測定モードにて表示される値と測定場所の温度の差が小さいことを確認してください。
・測定前に長時間本体を持たないこと。
本体が温まり正しく測定できません。
・体温測定モードでは、おでこ(額部)以外の体の部位に対して使わないこと。
・興奮状態や額部に汗をかいているとき、肌が紅潮しているとき、脈拍が早いとき、血管収縮薬の摂取時、皮膚のかぶれがあるとき、虚脱時などに測定をすると、温度変化として現れる場合があることに留意する。
正しく測定できないことがあります。
・おでこ(額部)の体温が奪われるような通気の良い場所では測定しないこと。
正しく測定できないことがあります。
・以下の状態にあった場合は額部の温度が安定するまで待ってから測定すること。
・直前まで運動をしていた場合。
・直前まで測定場所と著しく異なる気温下にいた場合。
・直前まで冷湿布などを額部に当てていた場合。
・直前まで帽子などを着用していた場合。
・直前に入浴やシャワー、サウナやヘアドライヤーを使用していた場合。
・測定部位の汗や化粧品はふき取ってから測定すること。
・測定部位に接触して測定しないこと。
正しく測定できません。
・測定部位に対して測定センサーを2～3cmの距離で垂直に向けること。
ずれると正しく測定できません。
・耳・額・わきの下などの平熱をあらかじめ検温しておくこと。
個人差により、額と脇の下の体温が約1℃異なることがあります。
・暖房機の近くなど、温風が直接あたるところで測定しない。
正しく測定できないことがあります。

測定温度について

本器はおでこ(額部)の温度を測定し、実際の体温により近い舌下温度に換算して表示します。

測定部位	測定値(参考)
おでこの温度	+34.5℃～+40.5℃
舌下温度	+36.0℃～+42.0℃

備考

舌下温度の換算値ではなく、おでこ(額部)の表面温度を測定/確認したい場合は、[6-3. 物体表面温度の測定および表示]の手順でおおよその温度を確認することができます。ただし、その際は測定精度を考慮してください。

6-2. 体温を測定する

(1)電源ボタンを短く1回押す。
本体が自己検査を行って問題がなければ短い電子音が2回鳴り、“ ”が表示される。
(2)おでこ(額部)から2～3cm離れた場所に測定センサーが位置するように保持する。(図7参照)
(3)[はかる]ボタンを押す。
測定が完了すると電子音が鳴り、表示部に測定温度が表示されます。電子音が2回鳴って“ ”が点滅から点灯に変わると、次の測定が可能となります。いずれの電子音も無効設定している場合は鳴りません。

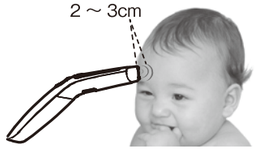


図7

(4)測定結果が38℃を超えた場合は“ ”が表示され、それ未満では“ ”が表示されます。

ご注意

表示部に表示されるアイコンは、測定結果が+38℃を超えるか否かで表示を切り替えています。
人によって発熱と判断される温度は異なるので、表示部のアイコン表示だけで発熱の有無を判断しないでください。

測定値の自動保存機能および表示

体温測定値は最新60件が自動保存されます。保存された測定値は以下の手順で呼び出すことができます。

(1)[モード/メモリ]ボタンを5秒以上押し続ける。
最後に自動保存された測定値が表示されます。
(2)さらに[モード/メモリ]ボタンを押す。
古い測定値が順番に表示されます。

ご注意

測定結果が「Hi」または「Lo」の場合は自動保存されません。

6-3. 物体表面温度の測定および表示

物体の表面温度を測定して表示する機能です。

(1)[モード/メモリ]ボタンを短く1回押す。
“ ”が表示され、物体表面温度測定可能な状態となります。
(2)測定対象から2～3cm離して[はかる]ボタンを押す。
約1秒の測定が完了すると“ ”が点滅してから点灯に変わります。
(3)表示部に表示された測定値を確認する。(図8参照)

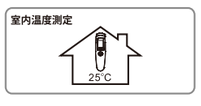
図8

ご注意

・物体表面温度の測定値は自動保存されません。
・物体表面温度測定モードで測定された温度は、測定対象物の表面温度です。
<例> 哺乳瓶に入ったミルクの温度を測りたい:
→哺乳瓶に向けて計測をしても哺乳瓶表面の温度が表示され、中のミルクの温度とは異なります。
・測定結果はあくまでも目安としてお考えください。

6-4. 室内温度の測定および表示

室内の気温を測定する機能です。



(1)[モード/メモリ]ボタンを短く2回押す。
“ ”が表示され、室内温度測定可能な状態となります。
(2)表示部に表示された測定値を確認する。(図9参照)

図9

ご注意

室内温度の測定値は自動保存されません。

7.保管・お手入れについて

・保管方法
・温度：ー20.0℃～+50.0℃
・湿度：85%RH以下(但し、結露のないこと)
・保管方法：日光下や強い電磁波の生じる場所、ほこりの多い場所では保管しないこと。
・保管するときには、収納ケースに入れて保管すること。

・測定センサー部の清掃
・濃度70%のアルコールで湿らせた清潔な布か綿棒を使って軽く拭くこと。

・本体の清掃
・低刺激の石鹸水を浸した柔らかい布をよく絞り、拭くこと。
・煮沸消毒したり、ベンジン・シンナー等の溶剤で洗浄したりしない。
・本体内部に液体が入らないように注意すること。
・本体が完全に乾くまでは使用しないこと。

8.トラブルシューティング

8-1. エラー表示など

表示	表示の意味と解決方法
Er 1	測定準備中。 → “ ”が点滅しなくなるまで待つ。
Er 3	室内温度が+10℃未満か+40℃以上ある。 → 室内温度が+10℃～+40℃の環境に少なくとも30分間置く。
Er 5～9	予期せぬエラーが発生した。 → 電池を抜き約1分放置後、再度挿入する。上記を試してもエラーが繰り返し表示される場合は、販売店に連絡する。
Hi	体温温度測定モードにて測定温度が+42.2℃より高いか、物体表面温度測定モードにて測定温度が+80℃より高い。 → 指定の温度範囲で温度測定を行う。繰り返しエラーが表示される場合は販売店に連絡する。
Lo	体温温度測定モードにて測定温度が+34℃より低いか、物体表面温度測定モードにて測定温度がー22℃より低い。 → 指定の温度範囲で温度測定を行う。繰り返しエラーが表示される場合は販売店に連絡する。
	自己検査に失敗した。 → 電池を抜き約1分放置後、再度挿入する。それでもエラーを表示する場合は新しい電池に交換する。 → 繰り返しエラーが表示される場合は販売店に連絡する。
	装着した電池の残量が少なくなった。 → 電池を新しいものに交換する。